

憲法フェスティバル

今年のテーマ

戦後80年と憲法～これまでとこれから

音楽

コモドウインズ
13:05～



講演

『女性の権利を国際基準に
～憲法と条約を活用しよう!』

早稲田大学名誉教授
浅倉むつ子
13:45～



講演

『人間の本性から平和への道を探る』

総合地球環境学研究所
山極壽一
15:10～



2025

6/21 (土)

開場 12:30

開演 13:00

終演 16:20(予定)

参加券：前売 1,800 円 / 当日 2,300 円

障がい者 1,000 円 (付添人 1 名まで無料) 学生以下 無料

★手話通訳ができます (協力 東京手話通訳等派遣センター)

★保育室あります (希望される方は前もってご連絡ください)

★車椅子でご来場の方は事前にお申し出ください

YouTube 配信も行います！

詳しくは下記のFacebookページをご覗ください

主催：憲法フェスティバル実行委員会

〒102-0085 東京都千代田区六番町3-11 テシコ六番町ビル4階 南北法律事務所 気付

TEL:03-3511-5749 FAX:03-3511-5784

Web <https://www.kenfes.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/KenpouFestival/>



会場：日経ホール

東京都千代田区大手町1丁目3-7 日経ビル 3階
東京メトロ・都営地下鉄 大手町駅 C2b出口より
東西線 竹橋駅 4番出口より

戦後80年と憲法～これまでとこれから

日本国憲法は1946年11月3日公布、翌年5月3日に施行されました。おびただしい貴重な人命の喪失と、惨憺たる焦土から生まれ出たこの憲法が、平和主義、国民主権、基本的人権の尊重の三原則を掲げた時、敗戦後の虚脱状態にあった国民は、この憲法を新生日本の基礎とすることに感激し、覚悟を抱きました。

施行直後から様々な改憲論が主張され、政府においても検討されてきた中で、「戦争の記憶」は日本国憲法を維持し続けた大きな原動力でした。一方、2015年の安保法制（いわゆる戦争法）強行採決以降、政府による「戦争のできる国」へ

の準備は着々と進み、「台湾有事」に備えるためとして南西諸島ヘミサイルが配備される等、憲法9条が公然と捻じ曲げられています。戦後80年が経過し、戦争の悲惨さを直接記憶する人は少なくなりました。記憶の減少を補って平和と自由への希求を次世代へ継承するために何ができるのかを、早急に考える必要があります。

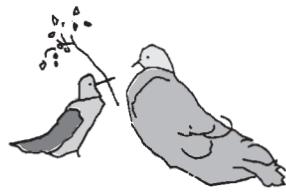
昨年話題になったドラマ「虎に翼」の登場人物の台詞「今、この憲法に見合った世の中になっているのか？」が多くの方の心に刺さっています。日本国憲法施行から少しずつ実現してきた人権・平等がありますが歩みは遅く、憲法的価値の実現はまだまだ道半ばです。この憲法をただ維持すればよいのではなく、積極的に活かしていく取り組みが必要です。今回の企画が、戦後80年を振り返り、「これから」を考える一助となれば幸いです。

（第1回憲法フェスティバルに
寄せられたことば）

木下恵介

それが
誓いであり、
手向けです。
安らかに眠れません。
魂は
死んだ人たちの
愚かな戦争で

守り抜かなければ、
平和憲法を
せめて吾々が
せめてです。



●●● 出演者プロフィール ●●●

浅倉 むつ子／早稲田大学名誉教授

現在、女性差別撤廃条約実現アクション共同代表。国際女性の地位協会共同代表。専門は労働法とジェンダー法。

著書に『新しい労働世界とジェンダー平等』（2022年、かもがわ出版）、『雇用差別禁止法制の展望』（2016年、有斐閣）、『労働法とジェンダー』（2004年、勁草書房）などがある。

COMODO WINDS（コモドウインズ）

2018年7月結成された一般吹奏楽団。主に豊島区の「ふるさと千川館」で練習。年に一回の定期演奏会と、地域行事での依頼演奏や高齢者施設等への訪問演奏も実施。

「コモド」とは気楽に、快適なペースでという意味で使われる音楽用語。30～60代の幅広い年齢層で楽しみながら活動している。共通しているのは「音楽が好き」「吹奏楽が好き」という気持ち。学生時代に吹いた懐かしい曲、思い出の曲などを中心に、話し合いながら演奏会を企画し日々練習に取り組んでいる。

若松 隆	吉永 小百合	山田 洋次	柳澤 協二	村井 敏邦	宮原 武夫	松崎 菊也	前田 輪音	堀尾 輝久	朴慶南	野田 正彰	中山 千夏	中村 梶郎	ナーグシクヨシミツ	高橋 廣行	趙博	清水 雅彦	猿田 佐世	小室 等	神田 香織	鎌田 慧	甲斐 道太郎	大谷 昭宏	小沢 隆一	遠藤 剛	浦田 賢治	宇都宮 健児	今宮 謙二	石山 久男	石川 逸子	池辺 晋一郎	井上 麻矢（しまつ座）	伊藤 真	伊藤 千尋	2025年（第37回）	憲法フェスティバルに 私たちも賛同します
------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-----------	-------	----	-------	-------	------	-------	------	--------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------------	------	-------	-------------	-------------------------

2025年3月17日現在

楷書でご記入ください

FAX 03-3511-5784 切り取らないで送信してください

お名前

〒

ご住所

ご連絡先

— —

■お問い合わせ・チケット販売
憲法フェスティバル実行委員会事務局 TEL:03-3511-5749 FAX:03-3511-5784
旬報法律事務所 並木(なみき) TEL:03-3580-5311
南北法律事務所 遠藤(えんどう) TEL:03-3511-5748

□に✓印をつけ、枚数をご記入ください

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 一般 | 1,800円 (枚) |
| <input type="checkbox"/> 障がい者 | 1,000円 (枚) |
| <input type="checkbox"/> 学生以下 | 無料 (枚) |

※障がい者が参加の場合、付添人1名まで無料

- チケット購入は
- ①郵便振替：00170-8-731544 「憲法フェスティバル実行委員会」
※通信欄に希望枚数と合計金額をご記入ください
 - ②銀行振込：三菱 UFJ 銀行 春日町支店 (普) 0979506
憲法フェスティバル実行委員会 会計 北山紀子
※銀行振込のあと、電話・FAX で振込人名・希望枚数・連絡先等の
必要事項をお知らせください
 - ③電話・FAX でお問い合わせください